

ポイ捨てごみが瀬戸内海の家ごみに？

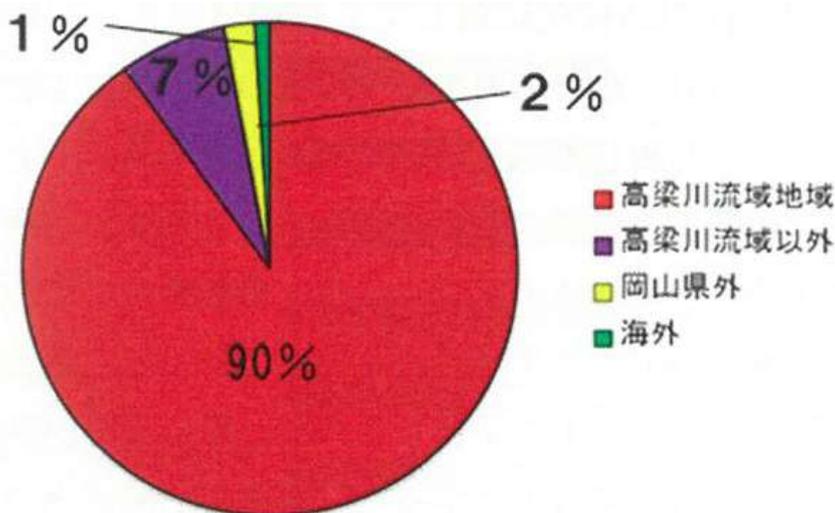
☆11月は、瀬戸内海の家ごみを考える月間です。☆

1 瀬戸内海の家ごみ

瀬戸内海は周囲を囲まれた閉鎖性海域のため、その家ごみの多くは、周辺の陸域から流れ込んだものと考えられます。

(※1)。

一部は漂着ごみを経て主に海底ごみ、そのまた一部は漂流ごみになります。瀬戸内海の家ごみ問題は、私たちの身近な問題です。



例：岡山県、高梁川における実態調査海底ごみの起点地域の割合(※1)

2 海ごみとは。

○漂流ごみ

海を漂うごみです。海鳥や魚が食べたり、大きいものは船舶に衝

突して事故を起こすこともあります。



漂流ごみ(※1)



大きなごみの回収状況(※1)

○漂着ごみ

主に河川から流入したごみが海流・風で海岸にたどり着いたごみです。

海岸に堆積して景観を損ない、再度海に流出して広範囲に拡散して、漂流ごみや海底ごみになります。



漂着ごみ(※2)



採取された漂着ごみ(※2)

○海底ごみ

海に流出したごみが海底に沈んで堆積したごみです。

人目に付きませんが、海の環境を悪化させます。



海底ごみ(※4)

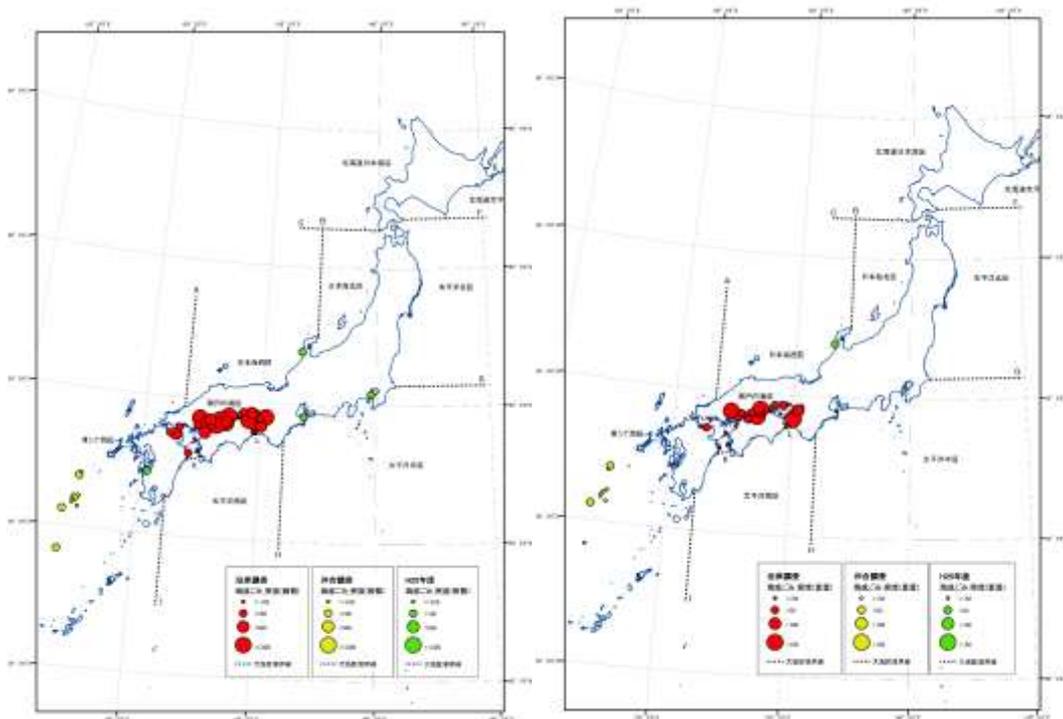


採取された海底ごみ(※1)

3 瀬戸内海の海底ごみの状況

○瀬戸内海の海底ごみの量は、約 13,000 トン以上と推計されています。(※3)

○瀬戸内海の海底ごみの密度は、個数・重量ともに他の地域と比べて非常に高くなっています。(※1)



海底ごみの密度(個数)

海底ごみの密度(重量)

○瀬戸内海の海底ごみ対策について

- ・既に大量にある海底ごみを、回収・除去すること
- ・河川から流入させないこと



一人一人が、ポイ捨てをしないことが、瀬戸内の海底ごみ問題の解決の第一歩です

これは、漂着ごみ、漂流ごみにも共通しています。

※11月は、海域では瀬戸内海の底びき網漁の本格的な漁期直前で、瀬戸内海の豊かさが認識できる時期、陸域では山里の河川流域に人々が集う秋の行楽シーズンのピークの時期であるため、陸域側も含めて、瀬戸内海のごみ問題の普及啓発等に効果的な時期であると考え、『瀬戸内海のごみを考える月間』としました。



環境省中国四国地方環境事務所

- ※1 「平成26年度沿岸海域における漂流・海底ごみ実態調査委託業務報告書」(環境省委託業務 三洋テクノマリン株式会社)
- ※2 「平成26年度 漂着ごみ対策総合検討業務報告書」(環境省委託業務 日本エヌ・ユー・エス社)
- ※3 「平成18年度から19年度までの瀬戸内海ごみ対策検討会の取組成果」(環境省中国四国地方環境事務所)
- ※4 「『瀬戸内海のごみ問題』について」(環境省中国四国地方環境事務所)